

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	下田市民スポーツセンター	施設番号	10002
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設
所管課	教育委員会生涯学習課	施設小分類	スポーツ施設

効率性

計画と実績

効率性指標		R4年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	対前年度比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数	52,956 人	60,821 人	37,884 人	71.54%	62.29%
	B 下田市年間経費	23,789,358 円	26,060,000 円	24,176,877 円	101.63%	107.79%
	B / A	449.23 円	428.47 円	638.18 円	142.06%	67.14%
②光熱水費		0 円	2,466,000 円	2,213,600 円	-	111.40%
効率性指標の考え方等		・施設利用者数等 (A) は本施設の利用者数としている。 ・年間経費 (B) は、本施設に対する市負担額としている。 正確な指標は、指定管理者側の数値 (経費) を加味する。工事費等の臨時的支出を考慮する等した上で算出する必要があるため、当指標は参考値である。				

その他の指標

区分	説明	単位	R3年度		R4年度		R5年度	
			値	単位	値	単位	値	単位
受益者負担 の適正性	①使用料原価	1 m ² 1 時間当たりの原価	8.60	円		円	7.80	円
	②稼動割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	528.00	%		%	617.00	%
	③ 1 m ² 1 時間適正使用料	① × ②	45.41	円		円	48.13	円
	④現行 1 m ² 1 時間使用料の平均	大・小ホール、会議室、楽屋等の平均値					13.99	円
	⑤適正化計画	大・小ホール、会議室、楽屋等の見直し						
平成18年度10月4日条例の一部改正により減免規定の見直しと使用料を改定。 平成20年4月1日～平成26年3月31日までの使用について改定後料金を適用。 平成25年度12月12日条例の一部改正により使用料を改定。 平成26年4月1日以降の使用について改定後の料金を適用。 平成28年11月1日以降の使用について陶芸窯の料金を制定。 令和元年度6月26日条例の一部改正により使用料を改定。 令和元年10月1日以降の使用について改定後の料金を適用。								

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(予算)
	人口 (4月1日 : 人)		20,734	20,287	19,963	19,545
	人口1人あたり (円/人)	運営経費	1,278	1,173	1,212	1,114
		年間総経費	1,247	1,148	1,211	1,124

* 人口1人あたりの運営経費：運営経費（支出計）／人口 * 小数点以下切り上げ
 * 人口1人あたりの年間総経費：下田市負担年間総経費／人口 * 小数点以下切り上げ

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	下田市民スポーツセンター	施設番号	10002
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設
施設小分類	スポーツ施設		
所管課	教育委員会生涯学習課		

利用者満足度調査

実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	調査の方法	アンケート	R5年度調査数	6 件
1 調査結果					
設問		回答種類		R5年度回答	
ご記入者について		利用者アンケート		①回答なし	
利用した施設について		利用者アンケート		①回答なし	
サービスについて		利用者アンケート		①回答なし	
施設、設備等について		利用者アンケート		①回答なし	
自主事業について		利用者アンケート		①回答なし	
その他		利用者アンケート		①wi-fiを入れて欲しい。今どき使えないとは、どんな田舎なのか。	
参加している事業		自主事業アンケート		①②③④⑤⑥幼児体操教室	
年齢・住まい		自主事業アンケート		① 5 歳児（市内） ④40代 ②回答なし（市内） ⑤年長（市内） ③ 4 歳児（市外） ⑥30代（市外）	
性別		自主事業アンケート		①男性 ④女性 ②女性 ⑤男性 ③女性 ⑥女性	
参加している事業の感想		自主事業アンケート		①先生が楽しく取り組ませてくださるので、またやりたいと言っている。 ②子どもが毎週楽しみに通っている。	
参加している事業についての要望		自主事業アンケート		①小学生にも教えて欲しい。開始時間を1時間遅くしてほしい。 ②回答なし	
気づいた点		自主事業アンケート		①とてもいい教室なので、たくさんの人に利用してほしい。 ②③回答なし ④継続的にずっとやってほしい。	
2 調査結果から読み取れること					
概ね適正に管理されている。					
3 次年度以降への改善点					
引き続き指定管理者と連携して適切な管理に努める。					

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	下田市民スポーツセンター	施設番号	10002
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設
		施設小分類	スポーツ施設

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市民スポーツセンター	2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係	
3 所在地	下田市敷根761番地	4 設置年月	平成6年6月	
5 総合計画の 位置付け	基本計画の分野	分野 2 子育て・教育		
	施策体系	施策 6 生涯スポーツの振興		
6 設置目的	市民の健康増進と体育の向上及び文化活動、レクリエーションの振興を図る			
7 設置根拠	下田市民スポーツセンター条例			
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 6398.63㎡ 建築面積 1249.14㎡ 延床面積 1266.49㎡ 構造 鉄筋コンクリート 地上1階 体育館・第1会議室・第2会議室・視聴覚室・創作実習室・陶芸窯		
	実施事業の概要	・地域スポーツ振興拠点として、各種教室の企画、実施。・各種大会、教室における会場の貸出及び合宿利用者の誘致、スポーツ知識、スポーツ技術の提供。		
	料金体系 (利用料金)	料金区分		
		主な利用料金		
	減免内容	<p>第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。</p> <p>2 前項に規定する使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 市、南伊豆町若しくは河津町の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方港教団が市と共催で使用するとき。 全額免除</p> <p>(2) 市内、南伊豆町内又は河津町内（以下「市内等」という。）の保育所、幼稚園又は小・中学校の主催で、園児、児童、又は生徒の教育のために使用するとき。 全額免除</p> <p>(3) 公立小・中学校（市内等の公立小・中学校を除く。）又は公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき。 5割の減額</p> <p>(4) 国の機関若しくは地方公共団体又は公共的団体の主催で、その目的が公益のために使用するとき。 3割の減額</p> <p>(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。 3割の減額</p>		
利用料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
施設運営方法	指定管理者制度	指定管理者	(公財) 下田市振興公社	
		一部委託 委託内容		
直接従事職員	下田市職員数 委託団体職員数 指定管理者（公財）下田市振興公社 1人、臨時 2人、パート 3人			

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	下田市民スポーツセンター	施設番号	10002
施設大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	施設中分類	スポーツ施設
		施設小分類	スポーツ施設

施設の概要

9 市内の類似施設	下田市所有	学校体育施設、市内他施設会議室
	民間所有	なし

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		R5年度末残高		備考
	建設事業費				
	地質調査費		建物減価償却取得価格	189,634	減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格1円 ①耐用年数 37年 取得価格 2,942,625円 (H16.2.24) ②耐用年数38年 取得価格 4,375,080円 (H28.10.31) ※陶芸窯
	設計競技		建物年間減価償却額		
	周辺整備				
	用地購入		建物減価償却後残高	5,037,116	
	実施設計料				
	工事管理費				
	取得価格 計	7,317,705	土地残高		
	建設工事		建設工事残存価格		
	電気設備工事		電気設備残存価格		
	機械設備工事		機械設備残存価格		
	備品購入費		物品減価償却後残高		
	その他委託				
	その他工事				
	事務費				
	財源内訳				
	国・県支出金				
	市債		市債残高		
	一般財源	7,317,705			
	基金繰入				

11 備考	
-------	--